

経営比較分析表（平成28年度決算）

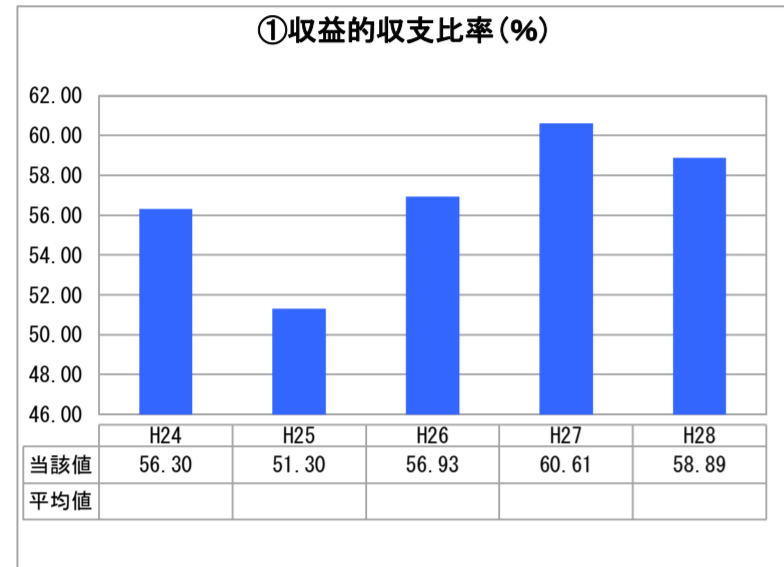
和歌山県 湯浅町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.05	100.24	3,570

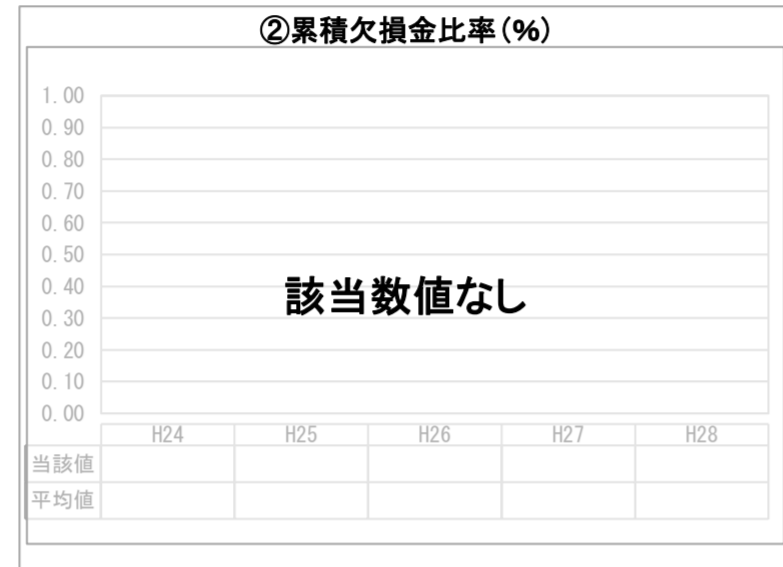
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,500	20.80	600.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,000	0.24	4,166.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



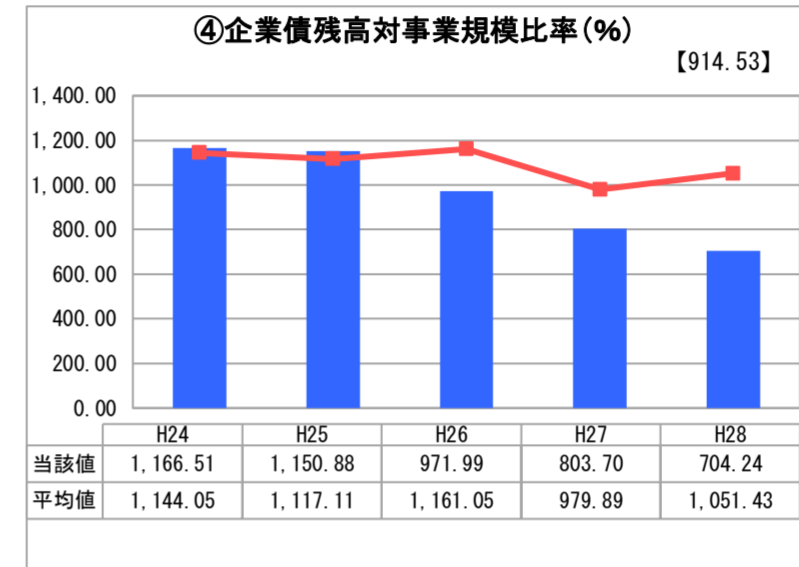
「単年度の収支」



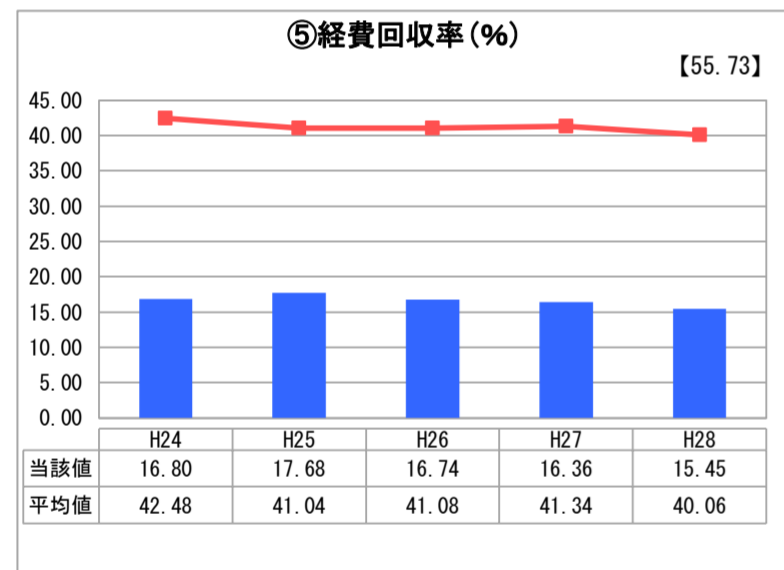
「累積欠損」



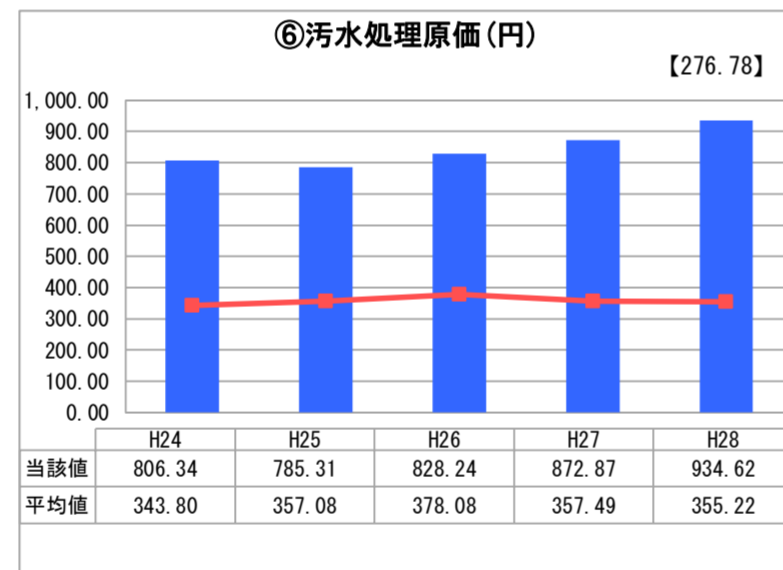
「支払能力」



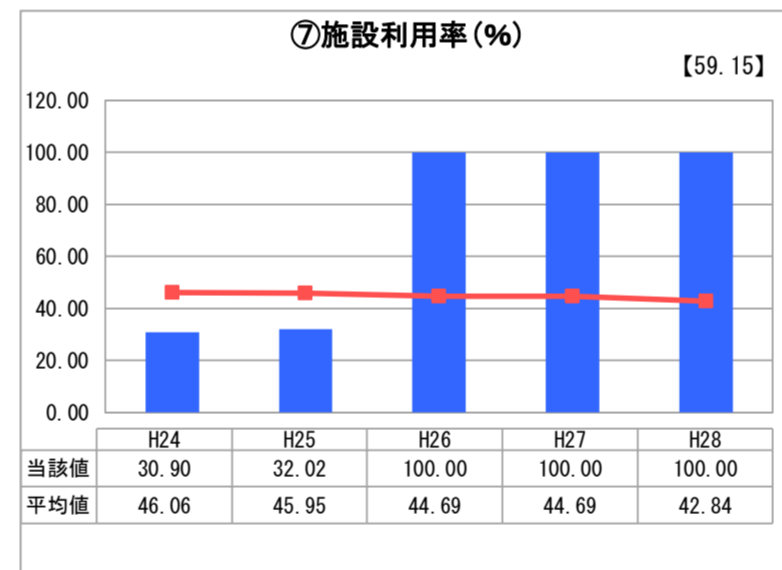
「債務残高」



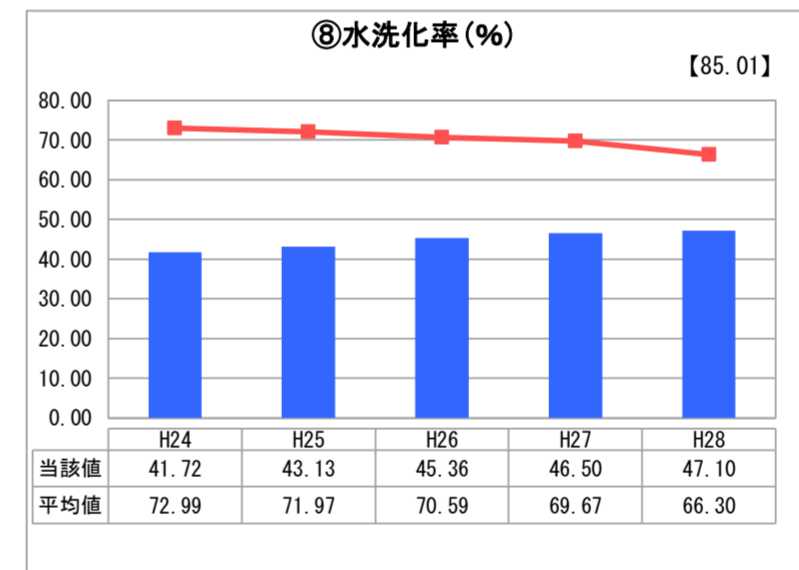
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

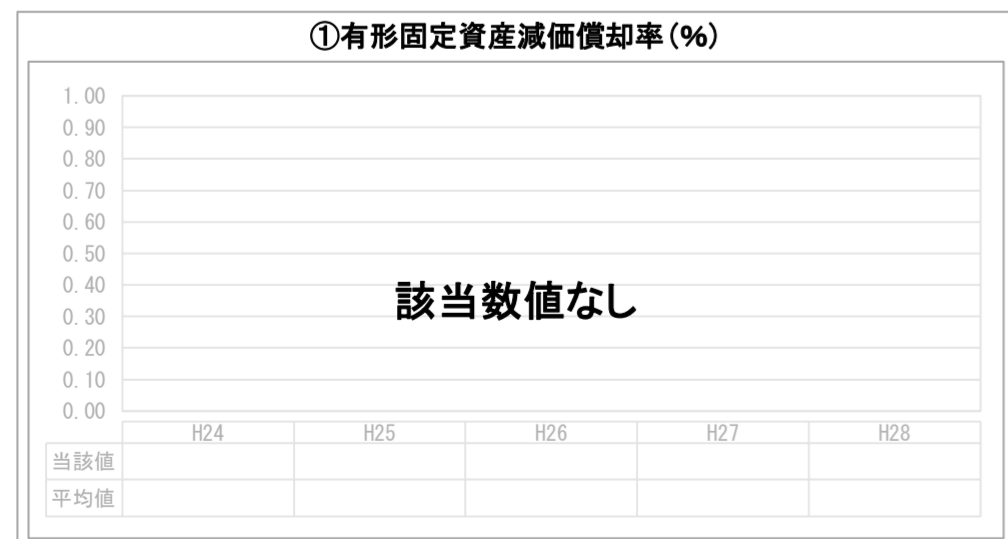


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

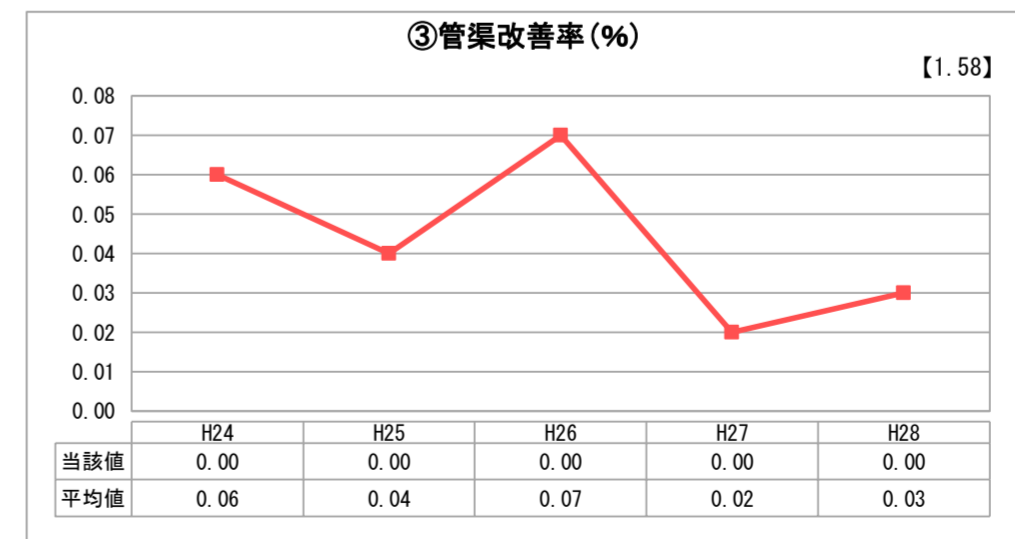
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率について、過去5年間において、50～60%の間を推移しており、今後も健全経営に向け改善していく必要がある。また、経費回収率は類似団体平均値と比べ極端に低く、数値もほぼ横ばいとなっている。水洗化率も毎年微増しているものの、約45%と低いままであるため、使用料、接続率の向上等見直す必要がある。汚水処理原価は平均値と比べ、3倍弱の値となっており、効率的に汚水処理ができているとはいえない。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設については、設置から13年が経過し、機器、計器類に故障が見られるようになり、毎年修繕にて対応している状況であり、施設、管渠ともに長寿命化が求められる。

全体総括

水洗化率は毎年微増しているが、全国平均と比べ低い状況が続いており、今後も大きく数値が上がる見込みはない。それに伴い、経費回収率も低く、使用料の見直しや接続率の向上等に向け、経営を改善していく必要がある。また、農業集落排水施設について、設置から13年が経過しており、ポンプ施設の機器や各計器に故障がみられるようになっているため、施設の長寿命化を考慮していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。